

令和2年9月11日

加盟団体理事長各位  
協力団体理事長各位

公益財団法人日本テニス協会  
専務理事 福井 烈  
総務・財務本部長 高橋 甫



## JTA 公式テニストーナメント再開ガイドラインの見直しのお知らせ

8月25日に内閣府より「9月1日以降における催物の開催制限等について」の発表がなされました。それにより、9月末までは現在の開催制限を維持し、催物開催の目安は、引き続き屋内屋外共に5,000人以下。屋内にあたっては収容定員の半分程度以内の参加人数にすること、屋外にあたっては人と人との距離を十分に確保できること（できるだけ2m）が示されました。

JTAは、内閣府の発表及び現状の感染状況をふまえ、依然として「Phase4」にあると捉え、大会再開にむけたステップは9月1日以降もステップ④を維持すると共に今後以下のスケジュールでPhase及びステップの見直しをはかることとします。

Phase & Step		大会の規模及び概要
4	ステップ④ 8月1日～9月30日	全国的かつ中規模な大会（128名程度以下） 都道府県境を越え、地域全国から選手が参加するが、無観客で開催される大会
5	ステップ⑤ 10月1日を目標 感染状況を見つつ判断	全国的かつ大規模な大会（128名程度以上） 都道府県境を越え、地域全国から選手が参加するが、無観客で開催される大会
6	ステップ⑥ (11月1日を目標) 感染状況を見つつ判断	全国的かつ大規模な大会（128名程度以上・チーム対抗戦）で観客数を制限して開催される大会。観客間の距離をできるだけ2m（最低1m）以上確保
7	ステップ⑦ 感染状況を見つつ判断	全国的かつ大規模な大会で、制限無く観客有で開催される大会

- ステップの移行時期は、その時の感染状況そして政府方針をふまえて判断します。
- 大会の大会規模の目安は、1種目あたりのドローサイズを基準としますが、シングルス・ダブルスの別、大会の種目数、各会場の広さ・コート数をふまえ、複数の会場で開催する、集合時間を分散するなど、会場に滞在する選手数を目安の数以下となるよう運営して下さい。
- 会場の混雑を避けるため、選手1名につき関係者1名とするなど、地域の実情に応じ送迎・引率などによる来場者に制限を設けること
- 厚生労働省の「COCOA システム」の利用を推奨すること

以上、よろしくご査収下さい。